番号	キーワード	テーマ	講義者	学科及び職階	内容
J-1	建築	建築環境デザイン／建物の温熱環境について考えてみよう	添田　晴生	建築・デザイン学部／建築専攻　准教授	[建築環境デザイン] 最近、建物をデザインする際に、建物の熱環境や空気環境を向上させ、省エネルギー化を図るために建築環境シミュレーションが用いられます。授業では、この建築環境シミュレーションを実際に用いて、クイズ形式で生徒に質問をして考えてもらいながら、解説を加えていきます。 [建物の温熱環境について考えてみよう] こちらの授業は、ペットボトルを建物、電球を太陽として、簡単な実験を行い、ペットボトルの温度を計測しながら、どのペットボトルの温度が高くなるかなど、グループディスカッションを通して互いに考えを分かち合っていただきます。
J-2	建築	人と自然にやさしい建築	坂口　武司	建築・デザイン学部／建築専攻　教授	これからの持続可能な社会づくりに貢献する、人と自然にやさしい建築の設計について、講義者自身が設計し、生徒の皆さんにも親しみやすい学校建築を実例にしつつ、紹介いたします
J-3	建築	建築物のハイブリッド振動制御	辻　聖晃	建築・デザイン学部／建築専攻　教授	大地震や巨大台風に備えて、さまざまな振動制御技術が建築物に適用されています。しかしながら、振動制御技術にはそれぞれに弱点があり、どのような外乱に対しても高い性能を発揮できる単一の振動制御技術は存在しません。近年、複数の振動制御技術を組み合わせて、どのような外乱に対しても高い性能を発揮できる「ハイブリッド振動制御」が超高層建築物を中心に適用されるようになってきました。本講義では、ハイブリッド振動制御の仕組みと効果について、模型や動画を用いてわかりやすく解説します。
J-4	建築	木造建物の耐震特性と耐震診断・補強	北尾　聡子	建築・デザイン学部／建築専攻　准教授	平成7年の阪神・淡路大震災では木造住宅の倒壊による被害が甚大でした。地震国日本において木造住宅の耐震性の向上が重要な課題であるといえます。そこで木造建物の耐震特性について説明し、耐震診断方法の現状と耐震補強の最新事例について紹介します。
J-5	建築	住まいの歴史と生活文化	矢ヶ崎　善太郎	建築・デザイン学部／建築専攻　教授	住まいの歴史をふりかえりながら、そこで営まれた生活文化を紹介します。住まいづくりの歴史には今の、そしてこれからの住まいを考えるヒントがつまっています。安全で快適、さらには豊かな生活をもたらす住まいとはどのようなものなのか、いっしょに考えてみたいと思います。
J-6	建築	建築生産について	守谷　幸治	建築・デザイン学部／建築専攻　教授	建築生産で、建物の種類や規模、構造等の条件により、施工や工程がどのように違ってくるのかをご紹介します。また、海外建築事例との比較により、日本の建築生産マネジメントや施工技術の特徴についてご紹介いたします。
J-7	建築	建築の学び～話題のICT建築「BIMについて」～	飯島　憲一	建築・デザイン学部／建築専攻　教授	建築のものづくり(単品受注生産)と製造業のものづくり(大量生産)の違いを説明し、今、建築業界で話題となっているBIMについてわかりやすく説明する。スマホによる簡単VRの体験からBIMに触れてもらう。さらに、本学がBIMを学べる数少ない大学であることをアピールする。
J-8	建築	建築・デザインとは？ ―空間ってそもそも何？？―	北澤　誠男	建築・デザイン学部／建築専攻　准教授	講義のテーマ：価値観や常識が変わるこの時代に、建築・デザインで出来ることは何だろうか…などについての講義をおこないます。 ワークショップ：「身近な人を笑顔にするため 身の回りにこんなデザインがあったらな…」というテーマでワークショップをおこないます。